



TITLE:

雜報

AUTHOR(S):

CITATION:

雜報. 地球 1933, 20(1): 75-80

ISSUE DATE:

1933-07-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184171>

RIGHT:

しまったことを告白して、之を江湖に推奨するものである。

(藤川)

○大塚地理學會論文集

第一輯 古今書院

定價三圓八十錢

菊版六百七頁、儼然たる大冊、田中啓爾先生の監修の下に東京文理科大学の教授や卒業生の努力で、新しい學界の進運をしめすべく凡そ三十五の長篇短篇が蒐録されてゐる、各篇とリどりに面白い。予は百花らんまんたる姿を嘆稱し、敢て大塚地理學會の力強い歩みを敬祝する。(藤川)

○地球儀の用法

秋岡武次郎著 小光社發行

定價八十錢

四六版七〇頁の小冊子、挿畫十版、中に我國で出來た珍重すべく多くの地球儀が美はしく記されてゐる。地球儀の用ひ方を極めて簡明に記されてゐることが、實際の教授者に對し大に利用されるであらうことを信じ、この書の著者に感謝の意を表する。(藤川)

雜報

○米國の石油産額

一九三一年の産額八億四千六百萬バレル、一九三二年七億八千五百萬バレルの石油産出は一九三三年には七億二千二百萬バレルで減少の見込である、その

見積左の如し。(單位千バレル)

州 名 新 産 地

舊 産 地

アーカンサス

三三、三五〇

一〇、四六〇

カリホルニア

一一、〇五〇

二五、〇〇〇

コロラド

五、五〇〇

二四、〇〇〇

カンサス

一、〇五〇

一九、一五〇

ルキジアナ

六、〇〇〇

二、〇〇〇

ミシガン

一、九三〇

四四、〇一五

モンタナ

一、八〇〇

一一、八〇〇

ニューメキシコ

一、八〇〇

一、九三〇

オクラホマ

一、八〇〇

一、九三〇

テキサス

一、八〇〇

一、九三〇

ワイオミング

一、八〇〇

一、九三〇

東部諸州

二八二、〇七〇

四四、〇一五

合 計

二八二、〇七〇

四四、〇一五

右のうち舊産地とあるのは從來一定量のある油田のことであつて、新産地といふのは見込だけであるから、これ以上にあるか、減ずるかは不明である、今見込のある新しい油田をあげれば(單位千バレル)

一九三二

一九三三見込

Elwood

五、四四一

四、四五〇

Kettleman Hills

二一、九四九

二五、〇〇〇

Plaga del Rey

五、九一一

三、九〇〇

| | | | |
|----------------|-------|---------|--------|
| 以上カリホルニヤ | 計 | 三三、三〇一 | 三三、三五〇 |
| Ritz-Canton | | 四、九二〇 | 三、五〇〇 |
| Voshell | | 二、七〇三 | 二、〇〇〇 |
| 以上カンサス | 計 | 七、六〇五 | 五、五〇〇 |
| ヒューメキンコ州 | Hobbs | 一〇、一九一 | 一、〇〇〇 |
| Chandler | | 一、四二二 | 八〇〇 |
| Holdenville | | 一、一四五 | 一、〇〇〇 |
| Oklahoma City | | 三三、三九八 | 四〇、〇〇〇 |
| Sholem Slehern | | 四、三三一 | 三、七〇〇 |
| 以上オクラホマ | 計 | 四〇、二八六 | 四五、五〇〇 |
| Buckeye | | 一〇八 | 一、五〇〇 |
| Comroe | | 二、五〇〇 | 一五、〇〇〇 |
| East Texas | | 二二、九四四 | 二〇、〇〇〇 |
| High Island | | 一、五一一 | 一、二二〇 |
| Rabbs Ridge | | 四、二二二 | 七、五〇〇 |
| Saxet | | 四九四 | 五〇〇 |
| Van | | 一七、三六一 | 一八、〇〇〇 |
| Yates | | 二、三三四 | 二、〇〇〇 |
| 以上テキサス | 計 | 一七、一三七五 | 一八、七二〇 |

いづれも昨年の出油から考定した新産油量である。

○日本の人絹業

に關し英國のコートールド社長は曰く、英國の人絹業は生絲及綿糸より競争壓迫をうけてゐるが、

夫よりも一層重大なことは人絹營業者相互の競争である、歐

大陸及米國は今尙生産過剰であるが日本は然らず、六年以前には僅に五百五十萬封度世界産額の四％にすぎざりしに一九三二年には一躍六千八百萬封度一三％に増加し、世界第四位となつた、同年米國は一位三千百萬封度、第二の伊國は七千萬封度、第三の英國は六千九百萬封度で日本との差僅一二百萬封度であるから、日本がもう少し増産すれば第二位となるのは容易である、日本人絹の發展は獨り東洋市場の占有に止らず、今や其人絹糸は歐洲方面に入り、其製品たる人絹織物及綿織物がランカシャ品の市場を侵掠してゐる。

日本品の競争武器は勞銀の低廉であり、長時間労働である生活程度が低級な上に最近圓價の低落があつたので、歐洲營業者をして普通の方法では到底競争が出来ぬ、關稅を上げて追付かない。されば歐米諸國の政府は此際之が對抗防止上更に強硬果斷な方策を急速に實施しなかつたならば、歐米品は日本品の侵掠により其市場を失ふであらう。蓋し過去五年間に英國がその三分二を失つたのに對し、日本は九倍の輸出を増加した、一九三二年の日本の紡績女工の賃金は現在の相場で、二時間一片七分から一片五分二である、人絹工場の女工は一片六分一で、男工も一片四分分の三から二片十分一迄である、これは英國人の約八倍の賃銀と比較にならぬ安値である。と述べた。しかし英國では日本の職工の生活は卑いかもしれぬが、他國工場に働てる職工以上の幸福と満足の生活を送つてゐる。必しも數字上の賃金といふことだけで

日本がすぐれてゐるのではない。(一)日本人は、織物業について生來的に熟練してゐる。(二)課税の負擔が英國よりも低い。(三)最新式機械の採擇に遲疑逡巡しない。(五)勞働爭議が殆ど起らない。(六)職工に限らず一般の從業者、社長に至る迄其勞働時間は長い、といつて日本を理解してゐる人もないではないが、いづれにしても現在英國の織物業、政治界の大勢として日本を目的に敵にしてゐることは確實である。

○セントローレンス河深水路開鑿

大西洋よりセント

ローレンス河を経て五大湖に通ずる大洋航路の開設を見込み、米、加兩國は愈その經費を切半して支出し、之に着手する條約を昨年七月十八日に調印した、もし之が出來ると大洋汽船の九割がセントローレンス河をへて五大湖に達し、シカゴダラス、ミルウォーキー、デトロイト、トレド、クリープランド等の諸港が海港になる。するとカナダではモントリオールの海陸運送の中繼地たる位置が失はれるし、米國では紐育の繁榮が、歐洲と米國中西部との直通航路の開かれるために大に阻害されるといつて、ニューヨーク州知事は經費支出をこばみ、ミシシッピ河流域諸州は、五大湖水が東方へ多く流れ去つてミシシッピの減水となることに反對するといふわけで種々の行きさつがあつたが、それでも遂にこの條約が成立したのである。

工事費用は約五億四千三百萬弗でパナマ運河の開鑿費用の約二倍に達するといはれ其年限は技術的に見て七年。少くと

も十年はかゝると考へられる。

其條約文によれば深さ二十七呎以上の航路開通を目的とし水力二百二十萬馬力を發電せしめ、又ミシガンより市俄古排水運河をへて、ミシシッピへの流水量は十五萬立方呎といふことであるが、(地方民は一秒間百七十萬立方呎を要求してゐるのである)そのためにミシガンからミシシッピへ九呎の深さの水路をつけるといふことになつた、排水や疏水がよくなれば五大湖の水位が低くなるといふことも考へねばならないであらう、猶又各條約國が發電に使用すべき水量は、使用可能水量の半分以上たるべきことといふ規約も設けられてゐる。何れにしても、今から十年後の五大湖は、之を今日に比べて面目を一新するであらうと考へる。

○レークス・ツィー・ガルフ水路

つぎに問題になるのは

右のミシシッピ及伊利ノイ河をへて、ミシガンに達するレークス・ツィー・ガルフ水路の完成である。この方は、本年六月シカゴ萬國博覽會開會と同時に開通の見込であるが、由來米國は五大湖の水運によつて西部の發展に注目し、十九世紀の初めにハドソン河と伊利湖との運河が出來て大に紐育の位置を高めたのであるが、ミシガンからミシシッピへの道路は十七世紀の末に佛國人の手によつて探検せられてゐた、そこで一八二二年ミシガンを伊利ノイ河に連絡する伊利ノイ運河が企てらな一八四八年に開通した、後になつて、いよゝこの運河の擴張を必要とし、一八八〇年には伊利ノイ河口ダ

ラフトン、ラサル間の水深七呎計畫を實行し、一九〇八年にはロツクボート、ユチカ間六十五哩を改修して二千萬弗を投じた。ついでイリノイ河下流を水深九呎河幅二百呎とし且ユチカ、グラフトン間、イリノイ河の舊水門四ヶを改築する經費として一九三〇年に七百五十萬弗を支出した、かくて前記の五大湖水運と聯絡して水深九呎の所謂湖水から灣への水路が出来ることになった、完成すれば水運七百五十萬噸を増加し、運賃節約年額三百八十萬弗に達すると云はれる、今迄米國の穀物倉たるミシシッピ・ヴァレー地方の小麥は全部鐵道で東部地方へ輸送されてゐたのであるが、水運となれば一ブツシエルに付二仙半割安となるのみでなく、玉蜀黍、牛、豚等の輸出が便利になり、海外から物資輸入も大に安く、太平洋岸及南部諸州の木材(全米の約五五%)の水路によるもの千呎につき四弗八十仙の割安となるに至る計算である。

現在の見込ではセントローレンス運河のために、右の水量供給が不足する心配はないらしい。其將來に於てシカゴは兩方の水運によつて恐らく米國第一の中心都會たるの位置をしめることとなるであらうと考へられる。

○南米チリの財政

近時に於ける世界不況の影響を蒙らざる國はないが、しかしチリ一程深刻な影響をうけた所は他にない。一九二一年から一九三〇年に於てチリ政府の國債及其保證にかゝる債務は米國のみで三億一千萬弗、この内二億六千萬弗は米人の所有であるが、チリ國內の産業に對す

る米人の直接投資高は既に四億四千萬弗、合計七億ドルは米國人のみで引受けてゐるが、これは大戰後十年間米國資本家が無茶苦茶にチリ公債を煽動した結果で、その結果好景氣の夢破れて、とてもこの借金が返済出来ぬとなつた今日、一九三一年四月に猶二億二千萬ドルの相場をもつてゐた米人所有の株券は同年七月の革命の後僅に二千萬ドルの時價しかないやうになつた、十分一の價に下つても猶買手がないとすれば米國資本家も一寸間誤つてゐるにちがひない。

チリは貿易外受取勘定皆無の國である。頼む所は銅と硝石の二大産業であるが、一九二〇年代の好景氣時代には硝石年産三百萬噸に達したが、過去數年間に於て人造硝石が出来たため、世界の需要が百萬噸に減じてしまつた、しかも其過剩ストックは三百萬噸にも達してゐるから、結局關係者全般の失業となつた、銅の方も一九二九年三十萬噸を産出したが近年は八萬五千噸に過ぎず。この方も世界に過剩ストックが非常に多い外に、南アフリカの産銅が世界第一の廉賣をするのでいかにもがいても三十萬噸以上は捌け口がない。

オーストラリア、アルゼンチン、ブラジル等は負債國ではあるが生活必需品については自給しうる丈けの工場があるから、輸入禁止が出来ぬ。しかしチリには銅鐵製品、藥劑、織物、器械、車輛等すべて輸入に傾く外に石油や、砂糖其他の食料品さへも海外の輸入を必要とするのであるから二大産業が芽が出ない限り、貿易の勘定が出来ぬ。しかも一方八萬人の

勞働者が六萬人まで餓首されてゐる。失業の増加につれて、政府への税金は入らない、止むを得ず紙幣を増發する、只今は外國への利子支拂停止中であるが、もしこれを拂うとすれば歳入五億九千萬ペソに對して、歳出三十三億五千萬ペソになる。借金倒れといふことはチリの如き國に於て云ふ言葉である。しかし一九三三年には歳出經常費七億五千萬ペソ、失業救済費約二億ペソ、合計九億五千萬ペソとなつて、前年の五億九千萬ペソに比して四億以上の追加となる、とてもその負擔力がないかもしれないといはれて、目下税制整理中である借金亡國の嘆はふかいことと考へる。

○日本製電球のニューヨーク輸入 一九三二年十月

本邦の電球が關稅三割支拂濟のもので一個二セント乃至二セント半といふ安値で、米國品は一個原料のみで三仙四厘を要する電球と競争したので大に米國の上下を驚かした、そこで一九三二年に於ける米國輸入電球計一億一千三百萬個、百十萬弗に上つたうちでニューヨーク經由は六割に達したが、この海外輸入電球の九割六分まではすべて日本品であつた、輸入競争者たる獨逸品は極めて少く、現在では日本品の位置と地盤は鞏固になつた。其取引方法をみるに、主として米國商人が本邦に於て生産者と直接に取引をするので、法外な安價で買付けるらしい。本邦同業者間に統制がないので、利益を彼國人にとられてゐるのである。かゝる買付の數は凡そ輸入の七

割に達し、主として十錢店の小賣業者又は連鎖店主である。

本邦商店にしてニューヨークにあるものは、三井物產支店三菱商事支店、野崎商店等であるが、普通電球は五千個、豆電球は五萬個單位で取引してゐる。小賣價格は六十燭大物一個本邦品は八仙、米國品は二十仙の定價で十仙均一でうつてゐる。クリスマス豆電氣は米國品一個五仙本邦品は三個に付五仙、フラッシュライト用二個につき五仙、といふわけで米國品よりも遙に安い。從價三割の税金を拂つて猶これであるから當分この輸入はつゞけられる。ことに豆電球は機械作業よりも、家庭工業として手工を主とするものであるから、本邦の特徴を發揮しうるといふ利がある。従つて本邦品としても豆電球の輸入は年々増加し、一九三二年には、前年よりも五割も増してゐる。恐らくこの方面では將來の見込が多いことゝ信じる。

○惠山線に就いて

朝鮮阿部廣吉氏よりの通信、吉州載德間營業開始の旨五月一日發行の地球七六頁に記載してありますが未だ該區間は營業を開始致して居りませぬ、公文によりますと「本區間は工事用列車なるも乗車の便あり」です。實際は該區間には客車を運轉しますが小荷物手荷物を取扱はぬだけ、吉州驛以外では切符を賣らぬだけ、載德合水間もセメント運搬用の輕鐵あり、荷物運搬」といふ名目で便乗させます、尤もこの方は下りは空荷ですから毎回脱線せぬことは

稀です擦過傷位は覺悟しないと乘れませぬ。

○北滿バターの概況

一、乳牛頭數 從來北滿に於ける乳用牛は九萬乃至十萬頭と推算せられるが内約七萬五千頭はコロンバイル即ち興安嶺以西遼滿國境間の所謂蒙古遊牧民の自家用に飼養する蒙古牛にして現在の處酪農的價值はない。現在製酪工業（主としてバター製造）に利用せられつつあるものは約一五、〇〇〇頭に此の分布狀態左の如くである。

イ、哈爾濱市及其の附近に於ける乳牛 約四、〇〇〇頭
ロ、中東鐵路西部線地方に於ける乳牛 同四、八〇〇頭
ハ、北部コロンバイル三河地方に於ける乳牛 同六、〇〇〇頭
ニ、東部、南部線及其他地方に於ける乳牛 同八、〇〇〇頭
而して以上乳牛より製酪用として供給せらるる原料乳は年額二十萬布度内外である。

二、バター産額及販路 近年北滿に於けるバターの年産額は八、〇〇〇乃至一〇、〇〇〇布度見當である、北滿産バターの消費市場は上海にして天津之に次ぎ現に一九三一年度の如き北滿（主として哈爾濱）より上海に輸送せられたるバター五、〇〇〇乃至六、〇〇〇布度に達した。然るに滿洲國の關稅自主に伴ふ支那製品に對する正式輸入稅賦課以來は國民政

府の滿洲國生産品に對する報復的輸入關稅賦課並滿洲國生産品排斥の爲と且從來北滿品の強敵であつた遼洲バターの積極的進出の爲め（磅爲替低落による割安のため）之に壓倒せられ上海、天津市場共に杜絶の現狀である。

三、取引價格 哈爾濱渡最近の卸相場（每布度に付）二八一三〇元

同 小賣相場（每布度に付）三二元

四、原料乳買付相場

イ、哈爾濱及其の附近（麥酒壘三合四勺入一本）哈大洋五一

六仙

ロ、鐵道沿線 同 同 三一五仙

ハ、三河地方 同 同 二二三仙

夏期は各三割方下落する。

ニ、含脂率は平均四％—五・五％

夏期は平均三％—四％

以上は主として北滿製酪工業王と云はるる露人ウオロソツオフ氏の言に依るものである。

備考 一布度は四、三六〇匁、麥酒壘二十七本に相當する。

哈大洋一元は現在邦貨七五—七六錢見當一元は一〇

〇仙である。